

## 茨城大学理学部 准教授または助教 候補者公募

茨城大学理学部では、下記の要領で教員を公募いたします。

1. 職名・人数	准教授または助教（常勤・任期なし） 1名
2. 所属（専門分野）	理学部地球環境科学領域（惑星科学分野）
3. 応募資格	<p>(1) 理学部における惑星科学分野の講義・実験・実習等を担当できる方。また教養科目を担当できる方。特に、太陽や太陽系天体、あるいはそれらの構成物質を対象に、観測、データ解析、ないしは分析的手法を用いて研究を行っている方。</p> <p>(2) 博士の学位を有し、大学院理工学研究科博士前期課程における教育・研究の指導ができる方。</p> <p>(3) 学部生・大学院生の教育と研究指導に熱意を持ってあたり、かつ地球科学技術者養成プログラム(注)における人材育成にも参加できる方。また地球環境科学領域の教員と協力して教育・研究を意欲的に推進できる方。</p> <p>(4) 国立大学法人茨城大学 就業規則第4条の2[欠格事項]に該当しない方。</p> <p>(注) 理学部理学科地球環境科学コースでは、JABEE（日本技術者教育認定機構）の認定を受けた地球科学技術者養成プログラムにおいて、地球科学に関連する分野の専門技術者として活躍できる人材の育成を行っています。</p>
4. 採用予定日	平成27年4月1日
5. 応募締切	平成26年10月31日（金）必着
6. 提出書類	<p>(1) 履歴書（市販のもので可。写真貼付）</p> <p>(2) 研究業績目録（以下のように区分して記載）</p> <p style="margin-left: 20px;">A. 査読付きの論文（総説を含む）</p> <p style="margin-left: 20px;">B. 査読のない論文（総説を含む）</p> <p style="margin-left: 20px;">C. 著書</p> <p style="margin-left: 20px;">D. 報告書その他の出版物で特に参考になるもの</p> <p>(3) 主な論文の別刷または著書 5編以内（複写可）とその内容の簡単な解説</p> <p>(4) これまでの研究経過と教育活動（国外・国内の共同研究への参加状況、国際・国内学会での主な講演、受賞、現在までに取得した競争的資金、教育経験など、特記すべき事柄を含めてください。A4用紙2枚程度）</p> <p>(5) 教育への抱負（A4用紙1枚程度）</p> <p>(6) 今後の研究計画（A4用紙1枚程度）</p> <p>(7) 応募者について参考意見をいただける方（2名）の氏名および連絡先（所属、住所、連絡先、E-mail）</p> <p style="margin-top: 10px;">封筒の表に「惑星科学分野教員応募書類在中」と朱書し、書留にて郵送してください。なお、応募書類は希望されない限り返却いたしませんので、返却を希望される方は、宛名を書いた返信用封筒（切手貼付）を同封してください。</p>

7. 書類送付先および問い合わせ先	〒310-8512 水戸市文京2-1-1 茨城大学理学部教員選考委員会（地球環境科学領域） 委員長 藤縄明彦 TEL: 029-228-8398 E-mail: fujinawa@mx.ibaraki.ac.jp
8. 参考	当学部、領域の概要、メンバー等は、下記ホームページを参照してください。 <a href="http://www.sci.ibaraki.ac.jp/">http://www.sci.ibaraki.ac.jp/</a> <a href="http://www.sci.ibaraki.ac.jp/generalinfo/teacher/">http://www.sci.ibaraki.ac.jp/generalinfo/teacher/</a>
9. その他	書類審査による第一次選考の後、第二次選考として、研究に関する講演をしていただき、領域メンバーによる教育・研究に関する面接を行います。 なお、講演並びに面接への旅費等は個人負担にてお願いいたします。 機器分析センターには、共同利用の分析機器として現在、XRF, ICP, SEM/EDS, XRD, TEM等があります。  待遇・給与等については、国立大学法人茨城大学就業規則・国立大学法人茨城大学教職員賃金規程による。

〈個人情報の利用目的について〉

茨城大学理学部の教員公募に関連して提供された個人情報については、選考の目的に限り利用し、選考終了後は、選考を通過した方の個人情報を除き、すべての個人情報は責任をもって破棄いたします。